

八潮市

介護相談員だより



第11号
平成30年12月
発行：長寿介護課
介護支援係
電話：996-2111
内線：449

皆さんこんにちは！12月に入り、冬らしい澄んだ空気になりましたね。星空が綺麗に見えるようになってきました。ゆっくりと冬の空を楽しみたいところですが、体調を崩さないためにも、夜更かしや薄着は控えないといけませんね。

さて、今号の介護相談員だよりは、介護相談員派遣事業の紹介と、これまで聞き取ってきた利用者の思い、職員からのお話や、介護相談員が見た風景を紹介します！

介護相談員って？

介護サービス利用者とサービス提供事業者間の橋渡しをします！利用者の皆さんが日ごろ抱えている疑問や不満などを聴き、事業者へ報告することで、事業者にサービス改善の気づきを促し、より良いサービスが提供できるよう支援します。

八潮市の介護相談員

面来相談員と大野相談員が、毎月交互に市内の事業所を訪問して、利用者や職員からお話を伺っています。

(平成30年12月時点)



面来相談員



大野相談員

介護相談員がやってはいけないこと

- ◎活動上知り得たことを外部へ漏洩すること（守秘義務の徹底）
- ◎車椅子の操作や食事介助などの「介護」に当たる行為
- ◎利用者同士及び家族間のトラブルの仲裁

こういったルールを守りながら、お話を耳を傾けたり、レクリエーションに参加させていただいたりして、利用者の皆さんと同じ目線に立てるよう心がけています！

介護相談員派遣事業についてもっと詳しく知りたい方は…

○八潮市ホームページ「介護相談員派遣事業」→「八潮市 介護相談員派遣事業」で検索！

https://www.city.yashio.lg.jp/kenko/kaigohoken/kaigohoken_simin/kaigosodanin.html

○介護相談・地域づくり連絡会ホームページ→「介護相談・地域づくり連絡会」で検索！

<http://www.kaigosodan.com/>

裏面へ続く→

～ある日の訪問から～

介護相談員が訪問の中で聞き取った利用者の思いや、職員のお話、介護相談員が見た風景を紹介します。

利用者より

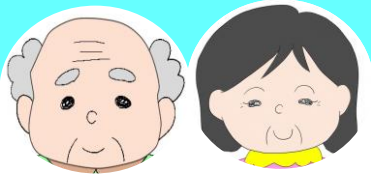
病気で、身体が思うように動かなくなっていました。ショックでしたが、病気になって初めて、他者の気持ちが分かるようになりました。また、多くの人に支えられながら生きているのだと思えるようにもなりました。これからも前向きに生きていきたいです。

私は入所してずいぶん経つのですが、先日息子が面会に来てくれた時、「なんだか前よりも若くなったね。」と言ってくれて、嬉しかったです。

通所し始めたばかりの頃は、知らない人達ばかりで戸惑ったけれど、話し掛けてくれる人がいたので、今は楽しいです。勧めてくれた家族に感謝しています。

最初は、歩行ができなくて車椅子を使っていましたが、リハビリを頑張ったので今は歩けるようになりました。

私は計算ドリルを解くのが好きなのですが、職員に丸付けをしてもらいたくてもなかなか言い出せなかったので、介護相談員から伝えてもらいました。



介護相談員より

入所当初は、突然入所することになり、不安で泣いてばかりだったと話す入所者さんがいらっしゃいました。ですが、今は明るく、他の入所者に声掛けをする様子がみられました。



施設職員より

利用者の〇〇さんは、人当たりがよく、分け隔てなく人と話せるので、新しい方が入ると、リビングでの座席は〇〇さんの隣にします。利用開始したばかりで不安な気持ちを少しでも和らげられるよう工夫しています。



施設への通所や入所を始めると、「馴染めなかったらどうしよう…。」「どうして自分が…」と、悩み、悲観してしまう方がたくさんいらっしゃいます。ですが、人それぞれ、考え方を変える転機になったり、職員や他の利用者との交流を経て、不安を乗り越え、利用を楽しめるようになっていたりしているようです。